

Pickup!① 市民劇団「漁火」 島風をうけて見事な船出！

2月27日、対馬市民劇団「漁火」の旗揚げ公演が対馬市交流センターで行われました。美津島町尾崎に伝わる蒙古来襲時の言い伝えをアレンジした公演のタイトルは「島風」。

蒙古軍から村を救おうと秘策を練った少女「伝」が、凄惨を極めた敵の仕返しの根源であると責任を負わされ惨殺されるという悲しい物語に、集まった500人の観衆の眼は舞台に釘づけでした。

また、クライマックスでは「佐須響心会」が蒙古太鼓の演奏で共演し、迫力あるシーンを演出してくれました。

「漁火」の次の公演は、今秋開催される「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会対馬大会」にて、脚本家ジェームス三木さんが手掛けた作品を上演する予定です。



市民劇団「漁火」では、一緒に作品作りをしてくださる皆さんを募集しています。

興味のある方は、厳原地区生涯学習センター（厳原地区公民館）までお問い合わせ下さい。 0920(52)0363

Pickup!② つしまチカラ7 結集 全員駅伝で目標を達成！



写真提供：長崎新聞社

大会初日、過去最高の日間4位でゴールする塩浦孝昌選手（陸自対馬）



写真提供：長崎新聞社

大会2日目、区間3位の力走でチームに貢献した國分恵介選手（國學院大）

2月18～20日、第60回都市対抗県下一周駅伝大会が開催されました。小学生から壮年まで「対馬」の名のもとに結集した選手たちは離島のハンデをものともせず、一致団結した“激走”“力走”で対馬旋風を起こしました。

チームを率いた田中光幸監督は、「目標の3年連続7位が達成でき、選手に敬意を表したい。今大会は過去最高の日間4位で初日をスタートできたのが各選手の粘り強い走りに繋がったと思う。

来年は過去最高の6位を目指して頑張りたい。」と大会を振り返りました。